

作業報告書

平素は弊社医用製品をご愛用いただき厚くお礼申し上げます。ご依頼内容にもとづき、メンテナンス等作業(納品)を行いましたので、ご報告いたします。作業報告書記載事項内容及び留意事項をご確認の上、ご署名をお願いいたします。

お客様名 山口大学医学部附属病院		様		山口サービスセンタ 〒754-0013 山口県山口市小郡緑町5番2号 TEL 083-973-7677 FAX 083-973-7684	
---------------------	--	---	--	---	--

お客様ID 65195030000-111	受付番号 6281154	作業 CS	区分 2H	保証区分 保守契約	PJ番号 MC4022140101
--------------------------	-----------------	----------	----------	--------------	----------------------

装置名 MRT-3020/J9	設置室 MR検査室4	据付日 2018年12月27日
--------------------	---------------	--------------------

ご依頼内容 保守点検2023年12月/定期点検2023年12月	受付日 2019年1月11日	作業内容 保守点検作業実施 総合動作確認良好完了 点検済証F605345 点検士番号MRC-01625 デジタルマルチメーターUKL-ID0050	
作業開始・終了時間			
開始	2023年12月22日13時00分		
終了	2023年12月22日18時00分		
時間内	時間外	往復	合計
7	2	2.5	11.5
			完了

ユニット MRT-3020/J9	製造番号 J9B18Y2003	作業担当者 榮田、野間 他0名
---------------------	--------------------	--------------------

使用部品		数量
1	別紙の通り、以下余白	
2	図番	
3	図番	
4	図番	
5	図番	

ご所属 _____ ご署名 *山根*

お客様へ(留意事項のご説明)

- ※本作業(納品)に関するお問い合わせは、作業報告書記載の受付番号でお願いいたします。また、本作業が有料の場合、別途ご請求申し上げます。
- ※本作業及び本作業に付随して提供するサービス部品、資料等の物品は、お客様が日本国内で使用または費消されることを前提に販売提供させて頂いております。輸出または海外に提供される場合には、輸出管理法により規制される場合がございますのでご注意ください。
- ※お客様の個人情報の取り扱いについて、以下の事項をご了承願います。
 1. 作業報告書記載作業の遂行に関連して、お客様よりご提示を受けましたお客様の代表者その他の役職員の個人情報(以下「お客様情報」といいます)につきまは、今後のお客様に対する保守サービス業務の遂行およびお客様に対する各種商品・サービスのご提供やご案内に使用させて頂きます。
 2. 弊社は、上記「1.」の使用目的の範囲内において、必要に応じて、お客様情報を弊社認定のもと、弊社が委託する会社へ開示、使用させて頂く場合がございます。
- ※交換修理に伴い発生しました使用済みサービス部品(作業報告書『使用部品』欄記載の使用部品の提供と交換に回収する使用済みサービス部品)につきましては、本作業の完了日をもって弊社が受領し、当該サービス部品の所有権が弊社に移転することを了承願いたします。

伝票番号	02301850
------	----------

作業報告書 (別紙)

	使用部品	図番	数量
1	FASTENER	3C08-00100*B	2
2	FASTENER	3C08-00101*B	2
3	FASTENER	3C08-00102*B	2
4	FASTENER	3C08-00104*B	4
5	FASTENER	3C08-00106*A	2
6	PAD	3M08-04134	2
7	PAD	3M08-04354	1
8	PAD	3M08-04356	2
9	PAD	3M08-04357	2
10	PAD	4M08-04355	1
11	BELT	4M08-05000	2
12	FILTER	4M08-05903	1
13	FILTER	4M08-05904	1
14	BATTERY	AXB017-01	2
15	WATER	AZC304-01	18
16	MAT	BSM41-6195*B	1
17	MAT	BSM41-6197*B	2
18	MAT	BSM41-6198*B	1
19	MAT	BSM41-6624*A	3
20	MAT	BSM41-6627*A	2
21	MAT	BSM41-6628	1
22	MAT	BSM41-6629	1
23	MAT	BSM41-6907*A	2
24	MAT	BSM41-6915	1
25	FASTENER	YZF3291-01	2
26	FASTENER	YZF3293-01	2
27	MAT.TRIANGULAR	YZM3421-01*A	1
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			

お客様へ (留意事項のご説明)

- ※本作業 (納品) に関するお問い合わせは、作業報告書記載の受付番号でお願いいたします。また、本作業が有料の場合、別途ご請求申し上げます。
- ※本作業及び本作業に付随して提供するサービス部品、資料等の物品は、お客様が日本国内で使用または費消されることを前提に販売提供させて頂いております。輸出または海外に提供される場合には、輸出管理法令により規制される場合がございますのでご注意願います。
- ※お客様の個人情報の取り扱いについて、以下の事項をご了承願います。
 1. 作業報告書記載作業の遂行に関連して、お客様よりご提示を受けましたお客様の代表者その他の役職員の個人情報 (以下「お客様情報」といいます) につきましては、今後のお客様に対する保守サービス業務の遂行およびお客様に対する各種商品・サービスのご提供やご案内に使用させて頂きます。
 2. 弊社は、上記「1」の使用目的の範囲内において、必要に応じて、お客様情報を弊社認定のもと、弊社が委託する会社へ開示し、使用させて頂く場合がございます。
- ※交換修理に伴い発生しました使用済みサービス部品 (作業報告書『使用部品』欄記載の使用部品の提供と交換に回収する使用済みサービス部品) につきましては、本作業の完了日をもって弊社が受領し、当該サービス部品の所有権が弊社に移転することを了承願います。

MR装置 Vantage Galan 3T 定期点検報告書

第 2 回目

B. 御得意様用(報告)

(1Y-2/7)

電源ONの状態で行う作業(1)

点検項目		項目番号	結果	備考	
1	システム総合	作業開始時のDQAを実施し、測定結果を確認する。	M-1a	✓	
		DQAを実施し、中心周波数が123.180 ~ 123.216 MHz の範囲内であることを確認する。	M-1b	✓	
		ユーティリティのウイルスチェックにて、StatusにCAUTION(赤)がないことを確認する。	A-8	✓	
		サイトパラメータをメディアにバックアップする。	M-2	✓	
		コントロールボックスのEMERGENCY ボタンを操作すると、コンソールモニタ上にエラーメッセージが表示されることを確認する。	M-3a	✓	
		EMERGENCY ボタンが操作された状態で、架台操作パネルの表示がすべて消えていることを確認する。	M-3b	✓	

電源OFFの状態で行う作業

点検項目		項目番号	結果	備考	
2	ECOキャビネット および コンソール	筐体前後カバーの風穴部のほこりを掃除機で取り除く。	A-1a	✓	清掃
		筐体前カバーを開け、筐体内部にたまったゴミ、ほこりを掃除機で取り除く。	A-1b	✓	〃
		筐体上面の電源ケーブル接続部に緩みがないことを確認する。	A-2	✓	
		5年周期でUPS 本体を交換する。	A-4		周期外
		ホストPC のほこりを掃除機で取り除く。	A-11	✓	清掃
		ホストPC の防塵フィルタのほこりを掃除機で取り除く。汚れが著しいときは防塵フィルタを交換する。	A-12	✓	〃
	傾斜磁場電源部	筐体前カバーを開け、筐体内部にたまったゴミ、ほこりを掃除機、ウエスでほこりを取り除く。	B-1	✓	〃
		傾斜磁場電源・電源コネクタ・出力端子の接続部に緩みがないことを確認する。	B-2	✓	
		水フィルタを交換する。	B-3	R	
	ファンボックス	ファンボックスの外装カバーを開けて、フィルタを清掃する。	E-7	✓	清掃
		ファンボックスの外装カバーを開けて、フィルタを交換する。	E-9		周期外
		4年周期でファンボックスのファンをすべて交換する。	E-10		
	フィルタパネル	傾斜磁場用フィルタのメッシュ部のほこりを掃除機で取り除く。	G-1	✓	清掃
		ファンボックス用貫通ダクトの銅メッシュをブラシで清掃する。	E-8	✓	〃
	架台	架台端子台の電流端子接続部の緩みをチェックし、ペイントマークのズレがないことを目視確認する。	E-4	✓	
		架台傾斜磁場ケーブルおよび相互間ケーブルの根本に断線が発生していないか目視確認する。	E-5	✓	
		架台傾斜磁場ケーブルを固定しているケーブルガイドのインシュロックが破断していないことを目視確認する。	E-11	✓	
		架台側面のカバーを開けて、ガントリーキャビネット下部のフィルタを目視確認する。	E-6	✓	
		ガントリーキャビネットの奥にある冷水マニホールド付近に水漏れがないことを目視確認する。	D-1a	✓	
		磁石	2年周期でバッテリーパックを交換する。	F-6	
ヘリウム排気管の健全性を確認する。 ・排気管にガタつき、ネジの緩みがないこと。 ・屋外のヘリウムガス緊急放出口に障害物がないこと。 ・屋外のヘリウムガス緊急放出口のドレイン穴が詰まっていないこと。 ・磁石クエンチバルブのドレイン穴が詰まっていないこと。	F-7		✓		
寝台	寝台のブレーキ解除レバーを操作し、天板を手動にて動くことを確認する。	H-1	✓		
	寝台のフレキシブルカバーを上側退避し、油圧ホース、クランプ部に損傷などがないことを目視確認する。	H-2a	✓		
	油圧シリンダロッドの摺動面に異常なキズや油漏れがないかを目視確認する。	H-4a	✓		

MR装置 Vantage Galan 3T 定期点検報告書

第 2 回目
(1Y-1/7)

B. 御得意様用(報告)

お客様名	得意コード: 6519503 山口大学医学部附属病院		
室名	MRI室	SR No.	6281154
実施日	2023年 12月 22日		
契約期間	2019年 1月 11日 ~ 2027年 1月 10日		
対象システム	MRT-3020/		
システム番号 (点検済証番号)	J9B18Y2003	(F605345)	
点検者 (技術者番号)	榮田	(MRC-01625)	
	野間	(MRC-03838)	

Vantage Galan 3T

お客様確認
山根

交換部品	部品番号	個数
報告書参照履歴のみ		

管理番号	測定機器名	S/N	校正有効期限年月
UKL-ID0050	デジタルZLX-9-	95040020	2024.12.

特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・国外国産品に17307 ・室外機、冷却水タンク補充確認。

MR装置 Vantage Galan 3T 定期点検報告書

第 2 回目

B. 御得意様用(報告)

(1Y-3/7)

電源OFFの状態で行う作業

	点検項目	項目番号	結果	備考	
2	寝台	油圧シリンダ・油圧ポンプ、ホースの接続部に油漏れがないことを目視確認する。	H-4b	✓	
		ケーブルクランプ部を目視確認する。	H-2b	✓	
		寝台内部の汚れ、ほこりを清掃する。	H-3a	✓	
		カバーの天板走行部の汚れ、ほこりを清掃する。	H-3b	✓	清掃
		上下動リニアガイドに汚れや古いグリスの付着、異常がないことを目視確認する。	H-5a	✓	
		汚れや古いグリスが付着している場合、グリスを拭き取り、新しいグリスを塗布する。	H-5a	✓	
	寝台 (保守点検マニュアル2Y900-706の場合)	リンク支点に汚れがないことを目視確認する。	H-5b	✓	
		汚れが付着している場合、汚れを拭き取り、新しいオイルを塗布する。	H-5b	✓	
		寝台下部のリンク支点ナット(内側)のペイントマークを目視確認する。	H-6a	✗	/
		寝台下部のシリンダ下部シャフト固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6b		
		寝台下部のシリンダ上部シャフト押ネジのペイントマークを目視確認する。	H-6c		
		寝台下部のシリンダラム固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6d		
		寝台下部のリニアガイドレール固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6e		
		寝台下部のリニアガイドブロック固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6f		
	寝台下部のインナーアーム上側ブラケのペイントマークを目視確認する。	H-6g			
寝台下部のアウターアーム下側軸受け固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6h				
寝台 (保守点検マニュアル2Y900-714の場合)	Xリンクセンターシャフト軸受け固定ナットのペイントマークを目視確認する。	H-6a	✓		
	シリンダラム固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6b	✓		
	リニアガイドレール固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6c	✓		
	リニアガイドブロック固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6d	✓		
	インナーアームブラケット固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6e	✓		
	Xリンクアウターアーム軸受け固定ボルトのペイントマークを目視確認する。	H-6f	✓		
寝台	すべてのコネクタポートで、ほこり、破損がないかを目視確認する。	H-10a	✓		
	すべてのコネクタポートで、接続するすべてのコイルのコネクタが3回スムーズに着脱できることを確認する。	H-10b	✓		
	すべてのコネクタポートの蓋の開閉が重いなどの支障がないことを確認する。	H-10c	✓		
	天板をINリミットまで挿入し、リトラクタ内のパーシエントコイル用エアチューブが正しく配管されていることを確認する。	H-25/ H-12	✓		
トランス キャビネット	真空ポンプがタイマ運転で停止したとき、圧力センサに表示されている値を確認する。	J-1a	✓	-83kPa	
	分電盤のブレーカーをOFFにしたのち、トランスキャビネット天面奥側のカバーを開け、TB1横のサージ防護デバイス(SPD)の機能表示窓3箇所がすべて緑色であることを確認する。確認後カバーを取付け、分電盤のブレーカーをONにする。	J-2	✓		
シムコイル電源	シムコイル電源のフロントカバー通風穴のほこりを取り除く。	K-1a	✓		
	前面パネルのエアフィルタについたほこりを取り除く。汚れがひどい場合は、前面パネルのエアフィルタを取り外し、水洗いした後、十分乾かしてから取り付ける。	K-1b	✓		
	アンプモジュールのヒートシンクに付いたほこりをウエスにて拭き取る。	K-1c	✓		
	GAIN STAGE2 基板に付いたほこりを取り除く。	K-1d	✓		
	SHIMCONT2 基板に付いたほこりを取り除く。	K-1e	✓		

MR装置 Vantage Galan 3T 定期点検報告書

第 2 回目

B. 御得意様用(報告)

(1Y-4/7)

電源ONの状態で行う作業(2)

点検項目		項目番号	結果	備考	
3	傾斜磁場コイル	傾斜磁場コイルの冷却水およびウォータードリフトメントを交換する。	D-4a	○	2023.6 交換
		筐体内のホースコネクタ部、接続部に水漏れがないことを目視確認する。	D-5	✓	
	ECOキャビネット	筐体の下記ファンが正常に回転していることを目視確認する。 ・ 筐体背面 ・ RM シャーシ上部 ・ RF シャーシ下部	A-3	✓	
		筐体内のホースコネクタ部、接続部に水漏れがないことを目視確認する。	A-5c	✓	
		設備配管にて、ECO キャビネットの冷却水IN 側の圧力計の値が0.5 MPa 以下であることを確認する。	A-10	✓	
		設備配管にて、冷却水の水温が、水温計で18℃ ~ 22℃の範囲内であることを確認する。	A-6	✓	
		RF アンプ用のフローメータにて、冷却水の流量が7 ~ 10 L/min の範囲内であることを確認する。	A-7	✓	
		RF アンプ正面の吸気口にリボン等を近づけ、リボンが吸い寄せられることを確認する。 また、ファンからの異常音がないことを確認する。	A-9	✓	
	傾斜磁場電源部 (保守点検マニュアル2Y900-706の場合)	筐体前面扉を開け、すべてのファンが正常に回転していることを目視確認する。	B-4	○	
		上部給排水ホース、および内部マニホールドのコネクタ部、接続部に水漏れのないことを目視確認する。	B-5a	○	
		筐体のその他のホースコネクタ部、接続部に水漏れのないことを目視確認する。	B-5b	○	
		水フィルタのホースコネクタ部、接続部に水漏れのないことを目視確認する。	B-5c	○	交換済
		設備配管にて、傾斜磁場電源の冷却水IN 側の圧力計の値が0.6 MPa 以下であることを確認する。	B-9	○	
		傾斜磁場電源用のフローメータにて、冷却水の流量が50 ~ 52 L/min の範囲内であることを確認する。	B-10	○	
冷却水の水温が18℃ ~ 22℃の範囲内であることを確認する。		B-6	○		
テラー内の水槽の水が、薬などの浮遊物やごみで濁りや汚れがないことを目視確認する。		B-8	○		
傾斜磁場電源部 (保守点検マニュアル2Y900-714の場合)	筐体前面のカバー越しにファンからの異常音がないことを確認する。	B-4	✓		
	設備配管にて、傾斜磁場電源の冷却水IN 側の圧力計の値が0.6 MPa 以下であることを確認する。	B-8	✓		
	傾斜磁場電源用のフローメータにて、冷却水の流量が50 ~ 52 L/min の範囲内であることを確認する。	B-6	✓		
	冷却水の水温が18℃ ~ 22℃の範囲内であることを確認する。	B-5	✓		
	テラー内の水槽の水が、薬などの浮遊物やごみで濁りや汚れがないことを目視確認する。	B-7	✓		
冷凍機	冷凍機本体およびホースから水漏れがないことを目視確認する。	C-1a	✓		
	設備配管にて、冷凍機の冷却水IN 側の圧力計の値が0.8 MPa 以下であることを確認する。	C-1b	✓		
	設備配管にて、冷却水の水温が6℃ ~ 22℃の範囲内であることを確認する。	C-1c	✓		
	冷凍機用のフローメータで、冷却水の流量が6 ~ 8 L/min の範囲内であることを確認する。	C-1d	✓		
	コンプレッサ正面のステータスディスプレイで、コンプレッサの運転時間が、前回のアドソーバ交換から30,000 時間以内であることを確認する。 30,000 時間に近づいたらアドソーバを交換する。	C-4	✓		
	コンプレッサの圧力計で、運転中の圧力が19.0 ~ 20.0bar の範囲内であることを確認する。	C-2	✓		

結果(正常:V 調整:A 交換:R 注油:G 特記事項:N 適用外:○)

MR装置 Vantage Galan 3T 定期点検報告書

第 2 回目

B. 御得意様用(報告)

(1Y-5/7)

電源ONの状態で行う作業(2)

点検項目		項目番号	結果	備考	
3	真空ポンプ	運転音を聞き、異常な音が発生していないことを確認する。異常な音がある場合は、真空ポンプの防振ゴムに破断がないことを目視確認する。	J-1b	✓	
		排気口のプラスチック容器の中に水分がないことを目視確認する。	J-1c	✓	
		真空ポンプから異音、モーターの異常な振動(ビビリ音)等がないことを確認する。	J-1d	✓	
傾斜磁場コイル	冷水装置から傾斜磁場コイルに配管されているバルブを閉じると、コンソールモニタ上にエラーメッセージが表示されることを確認する。また、エラーメッセージ表示後はシステムが撮像禁止となることを確認する。	D-2	✓		
		架台の冷却水圧力計P1、P2の値を読み、圧力差が以下の範囲内であることを確認する。 $0.1 \text{ Mpa} \leq (P1-P2) \leq 0.2 \text{ Mpa}$ (1.0 kgf/cm ²) (2.0 kgf/cm ²)	D-1b	✓	0.5MPa
	傾斜磁場コイルに配管されているバルブを閉じると、コンソールモニタ上にエラーメッセージが表示されることを確認する。また、架台の冷却水圧力計(INLET側)の値を読み、0.7 MPa以下であることを確認する。	D-4	✓		
	傾斜磁場コイルに供給される冷却水の水温が14°C ~ 16°Cの範囲内であることを確認する。	D-3a	✓	9.7MPa	
	傾斜磁場コイル用の冷却水の流量が19 ~ 21 L/minの範囲内であることを確認する。	D-3b	✓	15 20°C	
	傾斜磁場コイル用の冷却水の流量が19 ~ 21 L/minの範囲内であることを確認する。	D-3c	✓	19.2L/min	
	架台下部リアカバー(右/左)を取り外し、傾斜磁場コイルマニホールド部に水漏れがないことを目視確認する。	D-3d	✓		
架台	架台操作パネルの架台内照明スイッチを操作すると、架台内照明がON/OFFすることを確認する。	E-1	✓		
	架台操作パネルの架台内送風ファンスイッチを操作すると、架台内の送風がON/OFFされることを確認する。	E-2	✓		
	架台操作パネルのアボートスイッチを押すと、7セグに“Abort”が表示されること、また、同じスイッチを押すと、7セグの“Abort”が消えて数値が表示されることを確認する。(左右とも点検すること。)	E-3	✓		
寝台	架台操作パネルの寝台操作に関する各機能スイッチが正しく動作することを確認する。	H-7	✓		
	架台操作パネルのIN/OUTスイッチを操作し、天板がINリミット/OUTリミットで停止することを確認する。	H-8	✓		
	架台操作パネルのUP/DOWNスイッチを操作し、寝台がUPリミット/DOWNリミットで停止することを確認する。	H-9	✓		
	ペーシェントコールの送気球を握ると、操作室でアラームが鳴り、コントロールパッドの[TALK]ボタンを押すと鳴り止むことを確認する。	H-11a	✓		
	天板をリトラクタ接続部が見える位置まで挿入した位置で、ペーシェントコールの送気球を握ると、操作室でアラームが鳴ることを確認する。また、その位置から天板をINリミットまで100mm間隔で移動させた位置でも、ペーシェントコールのアラームが鳴ることを確認する。	H-11b	✓		
磁石	現在の磁石のLHe貯液量を測定し、6か月前のLHe貯液量の測定値と比較して減少していないことを確認する。	F-1	✓		
	LHe貯液量が60%以下でないことを確認する。	F-2	✓	72.6%	
	ハンディディスプレイまたは、インナービジョンのログでPressure heater average powerのwatt値が正の値(0を含まない)であることを確認する。	C-3	✓	0.73	
	スーパーバイザリユニットにハンディディスプレイを接続するかインナービジョンを使用して、磁石内圧の値が15.29 ~ 15.30 psiAの範囲内であることを確認する。	F-3	✓	15.3	

結果(正常:V 調整:A 交換:R 注油:G 特記事項:N 適用外:/)

MR装置 Vantage Galan 3T 定期点検報告書

第 2 回目

B. 御得意様用(報告)

(1Y-6/7)

電源ONの状態で行う作業(2)

項目番号	点検項目	結果	備考	
3	磁石	アラームボックスのインジケータが正しく表示されていることを確認する。 ・ LINE POWER: 緑 ・ HELIUM LEVEL: 消灯 ・ PRESSURE: 消灯 ・ COMPRESSOR: 緑 ・ EIS: 消灯 ・ COMS.FAULT: 消灯 ・ SYSTEM ON: 消灯 ・ MAG STOP: 消灯 ・ BATTERY LOW: 消灯	F-4 F-8 F-5	✓
		消磁したときは、アラームボックスのERDU ボタンの動作を確認する。 ・ アラームボックスのERDU ボタンを押すと、アラームボックスの“MAGSTOP”のインジケータが点灯し、警報ブザーが鳴ることを確認する。 ・ コンソールモニタ上にエラーメッセージが表示されることを確認する。 ・ 磁石内圧が上昇することを確認する (圧力上昇は、ハンディディスプレイで確認すること)。 ・ ERDU ボタンを回して元の位置に戻し ACKNOWLEDGE ボタンを押すと、アラームボックスの“MAG STOP”のインジケータが消灯することを確認する。	F-9	✓
		消磁したときは、撮影室のERDU ボタンの動作を確認する。 ・ 撮影室のERDU ボタンのケーブルをMSUP から外すと、アラームボックスの“MAG STOP”のインジケータが点灯し、警報ブザーが鳴ることを確認する。 ・ コンソールモニタ上にエラーメッセージが表示されることを確認する。 ・ 磁石内圧が上昇することを確認する (圧力上昇は、ハンディディスプレイで確認すること)。 ・ ERDU ボタンを回して元の位置に戻し ACKNOWLEDGE ボタンを押すと、アラームボックスの“MAG STOP”のインジケータが消灯することを確認する。	F-10	✓
	RF コイル	全身用QD コイルにて、腹部のB1 強度むらが4.3±1.0 度以内であることを確認する。	I-1	✓
	酸素モニタ	酸素モニタ正面のCAL ボタンを押すと、ブザーが鳴って、現在の酸素濃度が20.9±0.1%に校正されることを確認する。	L-4	✓
		1年周期で酸素モニタの電池を交換する。	L-5	R
		3年周期で酸素モニター一式を交換する。	L-6	✓
		酸素濃度の表示が19.5%以上であることを確認する。	L-1	✓
		表示部の電池アイコンにて、電池残量が低下していないことを確認する。	L-2	✓
		酸素モニタのセンサ部に酸素モニタ動作確認用ガスを吹き付けて酸素濃度を低下させ、19.5%以下になると、酸素モニタの警告ブザーが鳴り、換気装置が作動することを確認する。	L-3a	✓
	酸素モニタの警告ブザーを鳴らした状態から、センサ部に酸素モニタ動作確認用ガスを吹き付けるのを止めると、酸素濃度が上昇し、19.5%以上になると、酸素モニタの警告ブザーが鳴り止め、換気装置が停止することを確認する。	L-3b	✓	
	シムコイル電源	シムコイル電源背面のファンが動作していることを目視確認する。	K-2	✓
	システム総合	DQA を実施し、中心周波数が123.180 ~ 123.216 MHz の範囲内であることを確認する。	M-1	✓
		傾斜磁場波形(渦電流波形)の確認 1次渦調整確認(Range check)	M-4	✓
		全身用QD コイルのS/N 試験(球オイルファントム) S/N が110 以上であることを確認する。	M-5	✓
		全身用QD コイルの均一性試験(球オイルファントム) 均一性の測定値が0.90 以上であることを確認する。	M-6	✓

5/24

5/24

123.19764MHz

133.3

4x0.98 0.90
59.0.95

MR装置 Vantage Galan 3T 定期点検報告書

第 2 回目

B. 御得意様用(報告)

(1Y-7/7)

電源ONの状態で行う作業 (2)

点検項目		項目番号	結果	備考	
3	システム総合	分電盤にて、400V電源電圧が360~440Vの範囲内であることを確認する。	M-7	✓	386 D UKL-7-20010 387 D
		定期交換部品と消耗部品が適正に交換されていることを確認する。	M-8	✓	
		安全標識が撮影室入口に掲示されていることを目視確認する。	M-9	✓	
		SFTモードへ変更した場合は、クリニカルモードへ戻しシステムリブートを行う。 次に投光器をつけ作業終了のDQAを実施し、測定結果を確認する。	M-10	✓	

オプションの点検項目

点検項目		項目番号	結果	備考	
4	RFコイル	各RFコイル付属の据付・サービスマニュアルに従い点検が実施されていることを確認する。	Z-1	✓	
	寝台	フットスイッチユニットを操作し、IN/UP、OUT/DOWNが正常に動作することを確認する。	Z-2	✓	
	同期ユニット	無線心電同期ユニットの送信機バッテリーが2年周期で定期交換されていることを確認する。交換周期の場合は交換する。	Z-3	✓	2023.3交換
		無線脈波・呼吸同期ユニットの送信機バッテリーが2年周期で定期交換されていることを確認する。交換周期の場合は交換する。	Z-4	✓	2023.3交換
	セカンドコンソール	セカンドコンソール付属の据付・サービスマニュアルに従い点検が実施されていることを確認する。	Z-5		終了
	AiCE MR 再構成処理ユニット	AiCE MR 再構成処理ユニット付属の据付・サービスマニュアルに従い点検が実施されていることを確認する。	Z-6	✓	